

令和4年度第3回根室保健医療福祉圏域連携推進会議  
兼根室圏域地域医療構想調整会議 議事録（概要）

日 時 令和5年（2023年）3月23日（木）14：40～16：10

Web（Zoom）開催

出席者 29名（内 事務局10名）別紙出席者一覧のとおり

- 議 題
- 1 地域医療構想実現に向けた地域の現状と今後の対応について
    - （1）地域医療構想推進シートの更新及び令和5年度取り組み方針について
    - （2）各医療機関の現状や取組状況、公立病院経営強化プランの進捗状況など
    - （3）各市町における医療・介護等人材確保への取組や現状・課題など
  - 2 重点課題「地域全体での医療従事者確保対策」について

議 事

1 地域医療構想実現に向けた地域の現状と今後の対応について

- （1）地域医療構想推進シートの更新及び令和5年度取り組み方針について

事務局から資料説明（遠藤企画主幹：中標津保健所）

○質疑無し

- （2）各医療機関の現状や取組状況、公立病院経営強化プランの進捗状況など

各医療機関から、病床の稼働状況や、看護師の確保に苦慮していることなどの現状、公立病院経営強化プラン策定に向けた動きなどについて報告。

○質疑・応答

中標津保健所）町立中標津病院における看護師確保・定着の取組と急性期病床の満床について町立中標津病院）経営改革の一環として看護師の研修に力を入れ、認定看護師の資格取得に対して全面的にバックアップしている。

病床については、冬期間は入院患者が増加する傾向にあり、オーバーベッドになる日もある状況。

- （3）各市町における医療・介護等人材確保への取組や現状・課題など

各市町から修学資金の貸付状況や、高校生を対象とした修学セミナー、医療・介護の就業体験付きの移住体験事業の実施、研修費への助成や就業支援金、住宅準備資金の助成、リクルートイベントへの参加などの取り組みについて報告

○質疑なし

- （4）その他質疑

中標津保健所）ICTを活用した地域医療情報連携ネットワーク「メディネットたんちょう」の拡充に向けて、使いやすく参加しやすいものにするための具体的な意見をお願いしたい。杉木会長）患者さんのデータ、特に画像がスムーズに見る事が出来ないのも、マニュアルがあると良い。

なお、各病院でドクターからの情報も含めて改善点などをまとめ、保健所又はメディネットたんちょう事務局に直接でも意見提出していくこととした。

2 重点課題「地域全体での医療従事者確保対策」について

事務局から資料説明（芳浪企画主幹：根室保健所）

○質疑無し

3 地域医療構想アドバイザーからの助言及び質疑応答

- （1）北海道医師会常任理事 笹本地域医療構想アドバイザー

新型コロナの第八波を乗り越えた医療職、事務職、保健所等各位に感謝。医師の働き方改革に関して、宿日直許可の申請をお願いします。地域医療構想に関して、当圏域の病床は急性期が多く回復期が少ない状況だが、地域包括ケア病棟や回復期リハビリテーション病棟だけが回復期というわけではないので、充分検討を。

(2) 北海道病院協会常務理事 西澤地域医療構想アドバイザー

根室地域の医療人材不足は自分が学生の頃からの話で、それが深刻化している印象。介護職は、外国人労働者が増加しており、外国人労働者の参入も考慮してはどうか。

地域医療構想はどの圏域も完結しておらず、その中で 2040 年に向けた検討の時期に来ており懸念している。将来に向けては高齢少子化の影響で従事者も減少することが予想され、圏域内の連携は元より、北海道全体での連携も視野に入れて議論して欲しいし、共に頑張っていきたい。

また、地域医療構想の実現に向けては、医療と地域包括ケアシステムを合わせながら考える必要があり、介護医療院は貴重な施設。病院は急性期にこだわらず、患者のケースミックスを考え、シミュレーションを行い、病棟を急性期から、地域包括ケア病棟に変更することは、経営的な観点、地域での提供体制の観点からも必要ではないかと感じる。

(3) 質疑応答

杉木会長) 根室市内には療養型の病院がないため、内科の急性期疾患治療終了後の患者の受け皿として、2つの精神科病院が担っている現状にあるが、精神科病院も看護師不足のなか、派遣看護師を数名雇って何とか病棟を維持している状況にある。

将来もこのまま精神科病院が受け入れを継続していくものなのか、違った機能の分野の病院が受け入れていくべきものなのか、御意見をいただきたい

笹本地域医療構想アドバイザー) 個人的には、高齢者が認知症になるのは自然のことで、精神科で診るのは違うと思う。やはり介護施設になると思うので、介護医療院、介護老人保健施設、特養、グループホーム等を設置し、役割分担が出来れば良いかと思う。

西澤地域医療構想アドバイザー) 他の圏域でも精神科に負担を掛けているのが現状。今回のコロナの時も問題になったが、結局そのまま最後まで診て貰ったケースが殆どであった。

指摘のあった部分は、精神科の病床数と、地域医療構想の一般病床との違いが元々の問題だと思うが、今、そこを解決するというのは、非常に難しいところ。

標津病院 佐々木事務長) 医師の働き方改革について、各根室管内の病院における労働基準監督署の祝日直許可の取得状況を知りたい。また、取得申請の条件について教えて欲しい。

笹本地域医療構想アドバイザー) 祝日直許可の取得状況については、北海道庁ホームページに昨年末の結果を公表しているが、二次医療圏毎の内容までは公表出来ない状況。実際に当直・宿直された医師が、どの程度仕事をしているかをしっかり把握した上で、まずは相談願いたい。労働基準監督署に相談しづらければ、勤務環境改善支援センターを利用願う。

市立根室病院 加美山事務長) 道内2つの地域における地域医療連携推進法人の取り組みのほか、今現在進行中、又は検討を進めているところはあるか。

笹本地域医療構想アドバイザー) 現時点で進行しているところはない。連携推進法人ではないが、重点地域として、岩見沢市立病院と労災病院との合併の構想が進んでおり、着工の直前まで来ている状況。

最後に、今後も圏域課題の解決と、地域医療構想の実現に向けて議論を重ねていくことを確認し閉会。

以上